



平城京で出土した最大の軒丸瓦（左）と
最小の軒丸瓦（右）（原寸大）

平城京最大の軒丸瓦・最小の軒丸瓦

これらは、平城京の建物の軒先をかざった軒丸瓦とよばれる瓦です。左は、直径30.4cmと非常に大きく、平城京最大のものです。平城京の軒丸瓦は、直径16cm前後のものが多いので、実に2倍の大きさということになります。

この特大の軒丸瓦は、平城京内にある薬師寺の発掘調査の際、出土しました。現在の薬師寺の諸堂の軒先にも軒丸瓦が葺かれていますが、これ程大きなものはないのでしょうか。

しかし、この特大の軒丸瓦は、出土数が非常に少なく、どうやら軒先に葺かれたものではなさそうです。よく観察すると、正面の文様のある部分と、後ろに伸びる丸瓦の部分との角度も、標準的な軒丸瓦と異なっているようです（下図参照）。これらの特徴から、この特大軒丸瓦は、屋根の棟端の鬼瓦の上に置かれた特殊な瓦ではないかと推測できます。

いっぽう、右下の軒丸瓦は直径9.8cmで、平城京最小の軒丸瓦です。平城京のいくつかの地点で一定の数量が出土していて、屋根の大棟だけに葺かれたか、小規模な建物の屋根に葺かれたのでは、と考えられています。

奈良のお寺にお参りされる機会があれば、一つの屋根の異なる場所に葺かれた瓦や、異なる建物どうしの瓦の大きさを比べてみるのも面白いかもしれません。

（企画調整部 中川 あや）

